

東京都委託事業 新しい公共支援事業
 とことん NPO サポートプロジェクト 2012

専門家派遣 募集要項

1. 概要

専門家派遣では、高い専門性・豊富な NPO 等の支援実績を有する専門家が、申込団体の事務所（都内）を最大 6 回訪問し、寄付・広報力向上、組織の強化・信頼性の向上のための取組みをサポートします。
 ※専門家がスタッフの代行として業務を実施するわけではありません。

| | |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 対象団体 | (1) 専門家派遣開始までに申込団体に所属するスタッフが「研修」を受講していること (2) 専門家派遣内容が受講した研修に関連したテーマであること ※ テーマは「①寄付・ファンドレイジング・広報」、「②組織の強化・信頼性の向上」のどちらかとなります。 ※ 審査あり |
| 費用 | 無料 |
| 募集期間 | 《第一次募集締切》 2012 年 12 月 20 日(木) 《第二次募集締切》 2013 年 1 月 15 日(火) 《第三次募集締切》 2013 年 2 月 15 日(金) ※受付順に随時、審査・専門家とのマッチングを進めますので、お早目にお申込ください。 |
| 派遣団体数 | 120 団体 ※1 団体あたり、最大 2 テーマ（「①寄付・ファンドレイジング・広報」、「②組織の強化・信頼性の向上」）まで派遣可。 ※派遣先団体が 120 団体となり次第、受付終了。 |
| 派遣回数 | テーマごとに 1 回 (2 時間程度) × 2~6 回 (派遣内容に応じて決定) |
| 派遣期間 | 2013 年 3 月 29 日(金)まで |

2. 対象となるテーマ

研修を受講いただいた方が所属する「団体」を対象に、研修受講テーマ「寄付・ファンドレイジング・広報」「組織の強化・信頼性の向上」に関連した専門家を派遣いたします。

▼専門家派遣の例

【テーマ①】寄付・ファンドレイジング・広報

- ・会員・寄付メニューの見直し
- ・寄付事業の計画・立案
- ・寄付者データベース導入について
- ・オンライン決済システムの検討
- ・支援者コミュニケーションの改善
- ・助成金活用
- ・広報計画、広報戦略の検討
- ・ソーシャルメディアの活用法
- ・団体ウェブサイト作成
- ・団体ロゴの作成

※「寄付・ファンドレイジング・広報」の研修をどれか一つでも受けていれば、「寄付・ファンドレイジング・広報」に関連する派遣依頼を申し込みます。

【テーマ②】組織の強化・信頼性の向上

- ・活動指針の見直し、明確化、組織内での共有
- ・人事制度作り（スタッフ、ボランティアの活用力アップ）

- ・就業規則や給与規定などの規定類の整備
- ・事業評価の仕組みづくり
- ・会計事務の整備
- ・情報セキュリティ
- ・団体のリスク管理 など

※「組織の強化・信頼性の向上」の研修をどれか一つでも受けていれば、「組織の強化・信頼性の向上」に関連する派遣依頼を申し込みます。

3. 専門家の選び方

①登録型

当団体に登録されている高い専門性・豊富な NPO 等の支援実績を有する専門家を派遣します。申込団体の申請内容をヒアリングの上、事務局側でマッチングさせていただきます。

②団体推薦型

申込団体から「専門家候補者」を推薦いただくことが可能です（専門家候補者の適格性や専門性等についての審査有）。審査の結果によっては採択されない場合もありますので、予めご留意ください。採択された場合、専門家の方には、必要な書類（報告書等）の提出をお願いさせていただきます。

※過去及び現在において、申込団体の意思決定、運営に携わった経験のある個人（有給・無給、専従・非専従を問わず、団体の理事や委員、スタッフを経験した方）は推薦の対象外とします。

▼専門家謝金について

謝金規定に基づき、以下の謝金（旅費・交通費を含む）を支給します。終了後に事務局から専門家にお支払いさせていただきます。

| 派遣回数 | 2回 | 3回 | 4回 | 5回 | 6回 |
|-------|--------|---------|---------|---------|---------|
| 金額(円) | 70,000 | 100,000 | 130,000 | 160,000 | 180,000 |

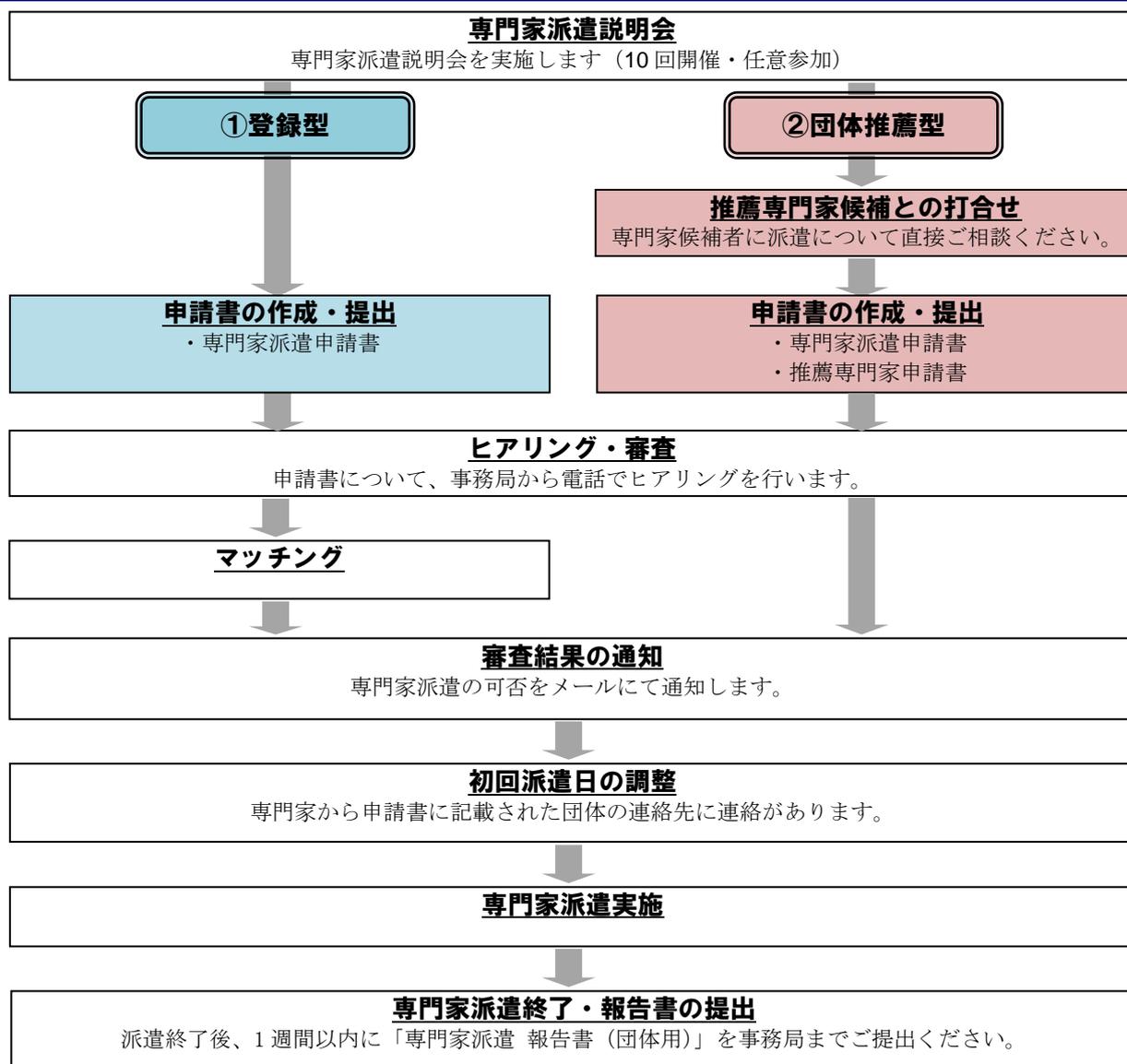
4. 申込方法

申込を希望する団体は以下の書類を電子メール【tokoton@npo-sc.org】にお送りください。
申請書の電子データは、「とことん NPO サポートプロジェクト 2012」のウェブサイトからダウンロードが可能です。

- ・専門家派遣申請書
- ・推薦専門家申請書（団体推薦型の場合）

※1 団体あたり、最大2テーマ（「①寄付・広報」・「②組織の強化・信頼性の向上」）まで派遣が可能です。
2 テーマそれぞれの派遣を希望する場合は、申請書を2テーマ分作成し、ご提出ください。

5. 専門家派遣の流れ



6. 審査について

申請書について、事務局から電話でヒアリングを行います。申請内容によって、その内容に関連した研修の受講計画の検討までサポートさせていただきます。

審査結果は、メールにて通知します。派遣決定の場合は、派遣する専門家についてもご連絡します。結果に対する問合せには応じることができません。予めご了承ください。

※専門家派遣決定後、原則キャンセルをすることはできません。

※申請書に修正が必要な場合には、再提出をお願いする場合があります。

▼審査基準

- ・課題の明確化（団体の課題、及び専門家派遣を希望する理由が明確かどうか）
- ・事業の具体性（計画している事業の内容、スケジュールが具体的で実現可能かどうか）
- ・目標が妥当性（具体的な目標値及び指標が設定されており、内容が妥当かどうか）
- ・適切な実施体制（事務局長等の事業責任者等の参加、複数人の体制）
- ・積極性（研修、個別相談での積極性があること。事業責任者のコミットメントなど）

7. 専門家派遣実施について

▼初回派遣日の決定

初回訪問日の日程調整について、専門家から申請書に記載された団体の連絡先に連絡があります。
※専門家の方から初回訪問日について事務局までご連絡いただきます。

▼初回派遣時

初回派遣時には、申請書をもとに以下について確認します。

- ①団体の課題
- ②専門家派遣終了までに達成したい目標
- ③スケジュールおよび実施体制

▼派遣実施中

- ・派遣中も「専門家派遣に関する相談」を事務局が随時受け付けます。
- ・実施計画（内容・回数）を変更する場合は、事前に団体から事務局に必ず連絡をしてください。
- ・事務局コーディネーターが同行する場合があります。ご注意ください。

8. 専門家派遣終了後について

「専門家派遣 報告書（団体用）」にご記入のうえ、事務局まで電子メール【tokoton@npo-sc.org】でご提出ください。

※派遣終了後、1週間以内に事務局までご提出ください。ただし、3月23日以降になる場合は、【3月29日(金)】までにご提出をお願いします。

▼「標準開示フォーマット」ご提出のお願い

「標準開示フォーマット」は、内閣府が提示する NPO 法人等の基本情報を公開するためのフォーマットとなります。新しい公共支援事業をご利用いただく団体については、団体情報に関して市民や社会に対して、透明性や信頼性を高めていただくために積極的に情報を公開していただく必要があります。「標準開示フォーマット」に記載いただいた内容は、東京都へ提出しウェブサイト等で一般公開いたします。フォーマットは、3種類【特定非営利活動法人用】【その他法人用】【任意団体用】があります。専門家派遣終了までに該当するものにご記入後、提出ください。

9. お問い合わせ先

特定非営利活動法人 NPO サポートセンター 小堀（こぼり）、三浦（みうら）

TEL：03-3547-3206 FAX：03-3547-3207

E-mail：tokoton@npo-sc.org

登録専門家 (一部)

▼寄付・ファンドレイジング・広報

生駒 浩平 サイカンパニー アートディレクター/デザイナー

1982年、東京生まれ。広告会社にてグラフィックデザイナーとして約5年間つとめ、2007年頃からNPO/NGOのデザインを手がける。2009年に退社後、1年半の世界一周へ。帰国後サステナに1年半所属し2012年、NPO/NGOに特化したデザイン会社サイカンパニーを設立。現在数多くのNPO/NGOのグラフィックやWEBデザインを手がける。http://saicompany.jp/



市川 裕康 株式会社ソーシャルカンパニー 代表取締役

NGO団体、出版社、人材関連企業等を経て2010年3月に独立。ソーシャルメディアを活用したビジネス支援、公共分野での利活用の推進に関する調査、講演、コンサルティング、非営利団体や企業のCSR/社会貢献活動の推進・支援に取り組んでいる。講談社「現代ビジネス」にて連載。米国非営利団体「ネットスクエアード」東京代表。著書に『Social Good 小事典』(講談社)がある。1994年同志社大学、1996年アマースト大学卒。



江崎 礼子 株式会社ソノリテ 代表取締役

世界の子どものワクチンを日本委員会、シーズ・市民活動を支える制度をつくる会、を経て、NPOや非営利組織が安くて安全に使えるオンライン決済システムのサービス提供を行う。株式会社ソノリテ代表。茨城NPOセンター・コモンズ理事。



菅 文彦 合同会社コーズ・アクション 代表

97年に財団法人オイスカに入る。01年日本で初めての募金ポータルサイト「ぼきんやドットコム」を公開(05年同サイト終了)。05年にヤフー株式会社で社会貢献・CSR関連を担当。「Yahoo!ボランティア」のインターネット募金の企画運営、「Yahoo!カーボンオフセット」や社会啓発コンテンツの企画。「Yahoo!基金」の設立・事務局業務。10年当社設立。NPOファンドレイジング・企業CSRコンサルティング等を専門とする。



▼組織の強化・信頼性の向上

呉 哲煥 特定非営利活動法人CRファクトリー 代表理事

2005年NPO法人CRファクトリーを設立し、代表理事に就任。「すべての人が居場所と仲間を持って心豊かに生きる社会の実現」をビジョンに、社会貢献性の高い事業経営を展開し、経営者として活躍中。「コミュニティ運営支援ツール「コミュニティ」」「コミュニティマネジメントセミナー」「コミュニティリーダーズカフェ」「コミュニティリーダーズフォーラム」「コミュニティ運営相談会」など、NPO・サークル・会・市民活動の運営者向けのサービスを多数提供。



中原 美香 NPOリスク・マネジメント・オフィス 代表

日米での人権団体勤務等を経て、2000年12月、「いいことは、うまくやろう!」をキャッチフレーズに「NPOリスク・マネジメント・オフィス」を設立。よりよい社会を実現するためにリスク・マネジメントの観点から、市民活動団体の組織運営や事業を支援するため、講座やNPO内部研修、コンサルテーション等を実施している。



矢崎 芽生 公認会計士・税理士

慶應義塾大学商学部卒。監査法人に勤務し、その後独立。認定NPO法人NPO会計税務専門家ネットワーク(略称:@PRO)の理事のほか、複数のNPOで理事・監事を務めるとともに、NPO法人の監査・税務・アドバイ業務などにも従事している。NPO法人会計基準専門委員として会計基準の普及に関わる。NPO法人ワールドランナーズ・ジャパンでは事務局長を務め、実際にNPO法人の運営にも関わる。



渡邊 文隆 アミタホールディングス株式会社 経営統括グループ 共感資本チーム タスクリーダー

デジタルハリウッド大学大学院修了。国内外のNPOでファンドレイザー/プロジェクトリーダーとして活動した後、「持続可能社会の実現」をミッションとするアミタグループに合流。環境ビジネス企業やNPO等のウェブ戦略/マーケティング支援に携わる他、プロボノとしても活動。NPO向けのセミナー、研修で講師を多数担当。



4. 申請内容

①団体の課題及び背景

※団体の抱えている課題とその背景について課題の重要性がわかるように具体的に記入してください。

②当てはまるテーマに○をつけてください。

() 「寄付・ファンドレイジング・広報」 () 「組織の強化・信頼性向上」

③課題について達成したい目標

※長期的にどのような状況になっていることを目指しますか。

④専門家派遣終了までに達成したい目標

※課題に対して、専門家にどのような支援を期待するか、また支援によって課題をどのように解決していきたいか(ゴールのイメージ)、達成する目標値、成果を測る方法・指標を具体的に記入してください。

(例：オンライン決済システム導入計画の作成、団体ウェブサイトの分析の実施、理事会の運営見直しなど)

⑤専門家希望派遣回数 _____回

⑥スケジュールおよび内容

※派遣は原則 2～6 回。2012 年度の東京都委託事業のため、3 月 29 日(金)までに派遣終了の必要があります。

※「団体推薦型」の場合は、専門家候補者と相談の上でスケジュール案を作成してください。

| 回数 | 希望時期 | 実施項目・内容 |
|------|------|---------|
| 1 回目 | | |
| 2 回目 | | |
| 3 回目 | | |
| 4 回目 | | |
| 5 回目 | | |
| 6 回目 | | |

⑤実施体制

| 名前 | 役職 | 受入時の役割 |
|----|----|--------|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

⑥専門家についてご回答ください（該当のものを残してください）

A. 「登録型」を希望

B. 「団体推薦型」を希望

⇒「団体推薦型」を希望する場合は「⑦推薦する専門家について」をご記入ください。

⑦推薦する専門家について

※「団体推薦型」の場合は、「推薦専門家申請書」も一緒にご提出ください。

●推薦する専門家の氏名・所属

●推薦する専門家の推薦理由

⑧その他 特記事項（派遣の受入れ可能な曜日、時間帯など）

とことん NPO サポートプロジェクト 2012
推薦専門家 申請書

記入日 年 月 日

1. 連絡先

| | |
|------|---------------------|
| ふりがな | |
| 氏名 | |
| 生年月日 | 西暦 年 月 日 |
| 所属 | |
| 連絡先 | 〒 |
| | TEL : () FAX : () |
| | メールアドレス : |

2. 職歴

| | |
|-----|--|
| 年 月 | |
| 年 月 | |
| 年 月 | |
| 年 月 | |

3. NPO 等の支援実績

| | |
|-----|--|
| 年 月 | |
| 年 月 | |
| 年 月 | |
| 年 月 | |
| 年 月 | |
| 年 月 | |

4. 支援分野に関連する学位・資格・所属・免許等

| | |
|-----|--|
| 年 月 | |
| 年 月 | |
| 年 月 | |
| 年 月 | |
| 年 月 | |
| 年 月 | |

5. その他特記事項

※団体との関係など（過去及び現在において、申込団体の意思決定、運営に携わった経験のある個人（有給・無給、専従・非専従を問わず、団体の理事や委員、スタッフを経験した方）は推薦の対象外とします。）

とことん NPO サポートプロジェクト 2012
 専門家派遣 報告書 (団体用)

記入日 年 月 日

1. 実施記録

| | | | | | | | | |
|-------|-------|---|---|---|------|----|---|---|
| 団体名 | | | | | | | | |
| 団体対応者 | [役職名] | | | | [氏名] | | | |
| | [役職名] | | | | [氏名] | | | |
| | [役職名] | | | | [氏名] | | | |
| 訪問日時 | 1回目 | 年 | 月 | 日 | 時 | 分～ | 時 | 分 |
| | 2回目 | 年 | 月 | 日 | 時 | 分～ | 時 | 分 |
| | 3回目 | 年 | 月 | 日 | 時 | 分～ | 時 | 分 |
| | 4回目 | 年 | 月 | 日 | 時 | 分～ | 時 | 分 |
| | 5回目 | 年 | 月 | 日 | 時 | 分～ | 時 | 分 |
| | 6回目 | 年 | 月 | 日 | 時 | 分～ | 時 | 分 |

2. 実施内容

※「専門家派遣」において、相談した内容をできる限り具体的にご記入ください。

| | |
|-----|--|
| 1回目 | |
| 2回目 | |
| 3回目 | |
| 4回目 | |
| 5回目 | |
| 6回目 | |

3. 目標達成度

| | | |
|------------------|---|-----------|
| 今回の専門家派遣による目標 | | |
| 目標達成度 (%) | % | 理由 (根拠) : |
| 今後、持続・発展させるための計画 | | |

4. 専門家派遣に関するアンケート

該当の数字にひとつ〇を付けてください

| | |
|-------------|------------------------------------------------------|
| 支援内容 | 1 とてもよかった 2 よかった 3 あまりよくなかった 4 よくなかった |
| | 理由 : |
| 専門家対応 | 1 とてもよかった 2 よかった 3 あまりよくなかった 4 よくなかった |
| | 理由 : |
| 運営 (事務局) | 1 とてもよかった 2 よかった 3 あまりよくなかった 4 よくなかった |
| | 理由 : |

5. その他特記事項